

全事業所で 一時帰休継続

特殊金属エクセル

特殊金属エクセルは、新型コロナウイルス感染症影響などによる

受注数量減少を受け、5月に引き続き6月も本社を含む全事業所で雇用調整助成金活用による一時帰休を実施する。

同社は5月から一時帰休の実施に踏み切り、5月は1人当たり月2日程度。6月に関しては受注状況をみながら同2〜4日を予定する。現時点で7月までは実施する可能性が

高い。

「米中貿易摩擦などの影響に加えて、新型コロナウイルス感染症影響もあり、受注数量が徐々に減少し、5月単月は前年同月比4割ダウン」（谷口毅社長兼CEO）。また、「中間決算（20年1〜6月期）は期初計画に届かないものの、収益改善策を早期に推進したこともあり、一定の利益水準確保のめどはついた。8月をめどに受注が回復

する見通しであり、年間受注数量は前年比3割程度落ち込むだろう（同）と分析する。

同社は新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止を徹底している。政府による緊急事態宣言解除後は制限を一部解除しており、ウェブ会議システムなどを活用しながら、テレワークを中心に輪番で出社し、本社の従業員出社率を5割以内になるよう調整している。